

4 自動車の排ガスや農薬散布が心配

～身近な地域の汚染～

こんなこと、ありませんか？



農薬の散布や自動車の排ガスなどによる環境汚染は、汚染の面積が広く、また、化学物質の発生源を個々に特定しにくいものです。さらに物質によっては環境中で変化するものもあり、汚染の実態やその影響について把握するのは容易ではありません。

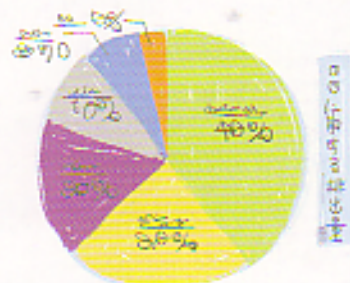
STEP

1

調べる

物質によっては、国による大気や水についての継続的なモニタリング(p.15参照)が行われているものもあります。

- 農薬や自動車、家庭から排出される化学物質については、PRTRで国が推計しデータを発表することになっています。



STEP

2

行動し確かめる

自治体やNGOなどの中には、市民参加による環境測定(大気や水質、動植物調査など)を行っているところもあります。

機会があれば参加して、身近な地域がどのような状況にあるのか(例えば、他の地域と比べてどうか、特徴的な汚染は何か、対策が必要な問題は何か)自分の目で確かめて下さい。

地域全体で化学物質の排出を管理する

- 将来的には、工場などからの排出と自動車、家庭などからの排出を合わせ、地域全体でどのように化学物質の使用・排出を削減していくかが課題となります。
- 自治体や工場などが設ける住民との協議会などに積極的に参加し、化学物質削減プラン策定などに関わっていくことも、市民の重要な役割のひとつになるでしょう。